

第1回会議でのご意見について

| No. | 審議会でのご意見 | 総合戦略における対応 | |
|-----|---|------------|---|
| | ご意見・ご質問 | 記載箇所 | 内容 |
| | (1) 人口の将来展望について | | |
| 1 | <p>国立社会保障・人口問題研究所の推計値には、土地区画整理事業による開発の影響が見込まれていないとのことであるが、それが一般的なのか。土地区画整理事業を行ってもそんなに人口が増えないと見込んでいるということか。</p> <p>過去の経緯から見ると、開発により順当に人口が伸びてきている。一方で、開発計画を立てても、そのとおりに人口が伸びない場合もあることを考えると、10万人を目指すというのは、強気な計画である。</p> | 全般 | <p>国立社会保障・人口問題研究所は日本全体の将来人口の推計を行ったものであり、転入・転出による市町村間の増減については、土地区画整理事業のような個別の状況が見込まれないものとなっております。</p> <p>本市においては現在も人口の増加が続いておりますが、住みやすさの向上と魅力の発信に取り組むことでさらなる人口の増加を図り、平成37年度に人口10万人の達成を目指すこととしました。</p> |
| 2 | <p>資料4「定住等に関するアンケート調査結果（速報）」は、示唆に富んでいる。「交通の便」や「子育て環境」、「医療・福祉」、「治安」などの居住地に求める条件として割合の高い項目に重点的に取り組んでいけば、人口も増えていくのではないかと思う。「学校教育の質」は若い母親などからはよく聞くが、意外と重視されていない。いずれにしろ、市民の正直な意見なので、重視してほしい。</p> | 全般 | <p>定住等に関するアンケート調査結果では、市民が「居住地に求める条件」として、「医療・福祉」「交通の便」「買い物の利便性」「治安」「子育て環境」が上位に挙げられており、総合戦略においては特に「治安」や「子育て環境」について取り組む必要があると考え、検討を行いました。「学校教育の質」と回答された比率は高くありませんが、小中一貫教育は本市の特徴であり、強みになると考えられますので、総合戦略においても引き続き取り組むこととしています。</p> |
| 3 | <p>現在の区画整理の手法で、果たして人口が増えていくのかという疑問がある。銀座の街などを歩いていると、建物の高さ制限を緩和して、開発を進めている。八潮市も交通の利便性が高いので、大きな土地をもっと効果的に開発できるように、高さ制限を緩和して住宅と商業施設が併設された大型の建物が建築できるようにするなどの開発手法も考えなければならないのではないか。</p> | 全般 | <p>八潮駅周辺の土地区画整理事業をはじめ、市内では、地区計画や高度地区など、様々な都市計画制度を活用して、まちづくりを進めておりますが、まちづくりには、一定の継続性・安定性が求められると考えております。</p> <p>総合戦略においては、子育てや教育の充実により、八潮市の住みやすさをPRし、定住人口の確保に努めてまいります。</p> |
| 4 | <p>住宅地の開発で当然人口が増えると思ってはいけない。転入してきても定住せず転出してしまったらどうしようもない。</p> | 全般 | <p>ご指摘のとおり、土地区画整理事業の推進などにより転入を促進するだけでなく、本市から転出せずに住み続けていただくことが重要だと考えております。どのような視点に立って取り組むべきなのか、八潮市人口ビジョンの人口の将来展望において、目指すべき将来の方向として明記するとともに、総合戦略においても、子育て支援や地域の安全・安心の確保に向けた取り組みを位置づけています。</p> |

第1回会議でのご意見について

| 審議会でのご意見 | | 総合戦略における対応 | |
|----------|--|------------------------------|--|
| No. | ご意見・ご質問 | 記載箇所 | 内容 |
| | (2) 八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略における基本目標案 全体 | | |
| 5 | 本日は八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会なので、今までのやり方をどのように打破して、新しいものを生み出すかを考えなければならない。外の人に来たがるような、すばらしいと認めるようなものをみんなで考えて戦略を練らなければならない。現状のままでは問題があるため、今までの発想を度外視して、どうしたらよいまちになるかを考えなければならない。市役所の人にもそういう気持ちで取り組んでほしい。 | 全般 | ご指摘のとおり、八潮市がより多くの方に居住地として選ばれるための取り組みを市民・事業者・議会・行政が連携して推進することが必要だと考えております。 本審議会では、様々なお立場から広くご意見を頂戴しまして、より良い戦略を策定してまいりたいと考えております。 |
| | 基本目標 1 | | |
| 6 | 市役所や駅前出張所では、市内産品の展示を行っているが、出店事業者の受注機会拡大には結びついていない。他自治体の商工会などが開催する大規模な産業展に出店すると想定以上の反響を得られるので、市内事業者の受注拡大に結びつくような取り組みを行ってほしい。 | 基本目標 1 基本的方向 3 具体的な施策① | 市内の産業の活性化は、本市の活力を維持し、就労機会の拡大を図るために必要なことであると考えており、基本目標 1 において取り組むこととしています。 また、市内事業者の受注拡大に向けた取り組みとして、展示会・見本市などへの出展の支援を行うこととしています。 |
| 7 | 農業について、収入を安定させるには、大規模な農業でなければならない。直売所なども、人手はかかるが十分な収入が得られない。親の大変そうな姿を見ると子どもはあとに続かない。もう少し、宣伝ができればよいのかもしれないが、現状はそうではない。 | 基本目標 1 基本的方向 1 具体的な施策① | 農業の経営支援は、本市における農業規模の維持のためにも必要であると考えています。 中川周辺の優良な農地を保全し、農家の法人化や遊休農地の活用を促進するなど、規模の拡大に取り組むこととしています。 また、本市の農業に触れ、地元産の農作物の品質を知ってもらうため、農商工連携による各種イベントや農業体験を通じて、地元農産物のPRを行うこととしています。 |

第1回会議でのご意見について

| No. | 審議会でのご意見 | 総合戦略における対応 | |
|-----|--|------------------------------|---|
| | ご意見・ご質問 | 記載箇所 | 内容 |
| 8 | 八潮市は工業が主要産業であり、つくばエクスプレスが開通する以前は、八潮市のよさは、住まいと職場が非常に近いということだった。一方、つくばエクスプレスができて、工場に勤めていない方が八潮市に住み始めた。だからこそ、人も増えている。工業に支えられているからこそ、そこに住んでいる人たちは満足感が高いのかもしれない。一方で、人が増えると、工業が危険なものと思われ、近づくことが、近づく便利から、少し危険なものへと認識が変わってきている。もう少し、事業を拡充したいと思っている事業者などもいるが、土地の価格が上がっているし、十分な広さも得られない。遠いところに移転すると、社員がついてきてくれるか不安だという声も聞かれる。八潮市全体を眺めたときに、職場をもう少し拡張できる場所をどこかに求められないだろうか。駅により近い地域は住居・商業系が集中するエリアとして、駅から離れた地域に工業が大きく使えるエリアをうまく確保できれば、職住近接のよさを保ちつつ、新しく入ってきた方も危険ではないという意識で住めるのではないか。 | 基本目標 1 基本的方向 3 具体的な施策② | ご指摘のとおり、工業は本市の活力を支えてきた産業であり、今後も振興に向けた支援が必要であると考えております。そのため、基本目標 1 の「経営改善支援事業」において、市内事業所へヒアリングを行い、市内製造業のおかれている状況について調査を進めています。今後は、把握した実態をもとに、工業振興施策について検討してまいりたいと考えています。 |
| 9 | 最近、結婚しない人が多い。いろいろな仕組みなどをみんなで考えていかなければならない。 | 基本目標 1 基本的方向 2 具体的な施策③ | 「若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる」ことは、国の総合戦略においても人口減少に歯止めをかけ、活力を維持するために必要な取組であるとされています。本市においても活力を維持するため、市内事業者を中心とした後継者確保のための交流イベントの開催等を行うこととしています。 |
| 10 | 一軒でもいいので、有名になると、波及効果で八潮市の認知度が広がるのではないか。 | 基本目標 1 基本的方向 3 具体的な施策① | 基本目標 1 において、優れた工業製品を冊子に取りまとめてセールスするなど、八潮ブランドの確立に取り組むこととしています。また、本市の農産物についても、消費地（市場）に近接している有利性を活かし、新たな販路を開拓するため、ブランド化やイメージアップに取り組むこととしています。 |
| 11 | 枝豆にもいろいろな種類があり、何を育てるかなどは農家の人に任せきりで、ブランド化にまで至っていない。選ばれた品種を統一して栽培するなど、農家と一緒に取り組まなければならない。 | 基本目標 1 基本的方向 1 具体的な施策② | |

第1回会議でのご意見について

| 審議会でのご意見 | | 総合戦略における対応 | |
|----------|--|----------------------------|---|
| No. | ご意見・ご質問 | 記載箇所 | 内容 |
| | 基本目標2 | | |
| 12 | 観光協会と商工会が、春夏秋冬に1つずつ「4大まつり」を実施しており、合計で約40万人が来訪している。経済効果は大きいので、こうした取り組みへの後押しもお願いしたい。「4大まつり」のうち、冬の「農業祭」にもう少し力を入れたい。八潮市の特徴は何ですかと聞かれたときに、四季折々のまつりを八潮市の目玉にしたい。 また、「枝豆感謝祭」や「はぴベジ博」なども後押ししてもらって、継続していきたい。 | 基本目標2 基本的方向1 具体的な施策① | 観光の取り組みは、本市の交流人口を増やし、魅力を知っていただくために必要な取り組みであると考えています。 定住等に関するアンケート調査では、「八潮市への来訪を促す仕掛け」として、「河川を活用した水に親しめる環境」や「花などの観賞（お花見など）」が上位に挙げられており、本市の資源を活用した観光事業に取り組むことで、交流人口を増やし、本市の魅力を知っていただくきっかけとしたいと考えておりますので、中川やしお水辺の楽校、中川やしおフラワーパークを活用したイベント等を開催することとしております。 また、「新鮮な野菜が買える産直の店」は市外へのPR効果が高いと考えられますので、農業振興にも取り組むこととしております。 |
| 13 | 花桃まつりは、いい財産だと思うが、規模が小さくもったいないと感じている。中川はよい素材なので、もっと延長して整備できないのかと思う。 | 基本目標2 基本的方向1 具体的な施策① | 中川やしおフラワーパークは、ご指摘のとおり本市の魅力ある財産のひとつではありますが、国から包括占有許可を受けている場所であり、規模の拡大は難しいものとなっております。 現在の施設を最大限に活用し、本市の魅力を効果的にPRするため、中川やしおフラワーパーク及び中川やしお水辺の楽校においてイベント等を開催するとともに、積極的に情報発信することとしています。 |

第1回会議でのご意見について

| 審議会でのご意見 | | 総合戦略における対応 | |
|----------|---|---------------------------------------|---|
| No. | ご意見・ご質問 | 記載箇所 | 内容 |
| 14 | <p>農業については、枝豆がすごくおいしくて、よくJAに買いに行く。しかし、草加市や越谷市の宣伝がうまいのに対して、八潮市はおとなしいように感じる。テレビの影響はすごいので、テレビ等で宣伝する方法はないか。テレビで宣伝してもらえると、八潮市に他の地域から訪れてもらえる。まずは、八潮市に住まなくても、外から来てもらいたいと考えている。そのためには、人材の育成が必要であり、特色ある人材を育てるとよいと思う。八潮市には、枝豆や小松菜などいいものがたくさん眠っているので、それを掘り起こしてもらいたい。</p> | <p>基本目標 2 基本的方向 1 具体的な施策②</p> | <p>本市の人口を増加させるためには、転入の増加と、転出の抑制に取り組む必要があります。そのためには、市外の人から見ても魅力的なまちづくりを進めるとともに、市民にとっての住みやすさを高める必要があります。 本市の資源を活用し、その魅力を市内外に効果的に伝えることができるよう、より良い情報を発信してまいります。</p> |
| 15 | <p>八潮市にはどういう魅力があるかを、首都圏の人にどう知らせるかということについて、テレビという手法はなかなか難しい。情報発信の場として、鉄道に乗っていて町並みが見えたり、一般道を走っていて看板等が見えたりすることがあるが、つくばエクスプレスでは、町並みを見ずに通り過ぎてしまうために、情報が伝わらない。そこをどうするか。情報発信には大きく2つの方向性が考えられる。1つは、誰でも簡単に手に入れることができるような情報発信の仕方、もう1つは、あえて情報を制限し、現地に行くなどしないと現物入手できないような、貴重さを演出する情報発信の仕方である。魅力のある商品であるというイメージを仕立て上げることも戦略である。</p> | | |

第1回会議でのご意見について

| 審議会でのご意見 | | 総合戦略における対応 | |
|----------|---|----------------------------|--|
| No. | ご意見・ご質問 | 記載箇所 | 内容 |
| 16 | アンケート結果の「八潮市へ来訪を促す仕掛け」に関する項目で、「河川を活用した水に親しめる環境」というものがある。八潮市では、中川を中心とした河川敷の占用許可を得て、八潮市観光協会が管理している。今年は「中川やしお水辺の楽校」ができ、「川の駅」の知名度が高まってきた。様々な取り組みを行っていきたくて考えているが、そのひとつとして、「中川やしお水辺の楽校」を利用して結婚式をしたい。船に乗って島に上がり結婚式を行う。披露宴はバーベキューでもよいのではないかと。若い人たちが自由に形式にこだわらない結婚式を挙げられるようになれば、少子高齢化対策にもなるだろう。そのためには、和船とテントを含めたバーベキューセット（50組程度）があればよいと考えている。バーベキューは一年中人が集まるので、イベントではなく事業化していきたい。フラワーパークは、春は「花桃」、秋は「コスモス」が咲くが、夏と冬にも咲く花を植えて、一年中花を楽しめるようにしたい。八潮市に来てもらえるような仕掛け作りをしていきたいので、協力いただきたい。 | 基本目標2 基本的方向1 具体的な施策① | ご指摘のとおり、定住等に関する市民アンケート調査結果からも、本市の河川に囲まれた環境はPR効果の高い貴重な資源であると考えられます。このような本市の資源を活用した観光事業に取り組むことで、交流人口を増やし、本市の魅力を知るきっかけとしたいと考えておりますので、中川やしお水辺の楽校、中川やしおフラワーパークを活用したイベント等を開催することとしております。また、つくばエクスプレス八潮駅は本市の玄関口でありますので、やしお駅前公園も活用し、イベント等を開催することとしております。 |
| 17 | やしお駅前公園の活用の仕方によって、八潮市の魅力が出せると思う。そのため、会場を1年中利用できるようなイベントを仕掛けていきたい。ビアガーデン等、あの会場に行けば何かやっているということをして仕掛けていきたい。ライブをしたい人などの発表の場としても使ってもらえれば、そうした人たちの仲間も集まるだろう。中川河川敷とやしお駅前公園を八潮市の魅力として発信していきたい。 | 基本目標2 基本的方向1 具体的な施策① | |
| 18 | 八潮パーキングをもっと活用できないのか。八潮パーキングは、車を使われる方の拠点となっているので、そうしたところがうまく使えるとよいと思う。 | 基本目標2 基本的方向1 | 八潮パーキングは首都高速道路の休憩施設であり、イベントスペースではないため、現状で活用する方針を示すことは難しいと考えます。一方で、駅周辺の事業者等と連携して賑わいに寄与するイベント等を実施することは、八潮市の交流人口増加に効果的であると考え、八潮パーキングに限らず様々な主体と協働の機会を探っていきたくて考えております。 |

第1回会議でのご意見について

| No. | 審議会でのご意見 ご意見・ご質問 | 総合戦略における対応 | |
|-----|--|----------------------------|--|
| | | 記載箇所 | 内容 |
| 19 | 「中川やしお水辺の楽校」のほかに、「綾瀬川ビオトープ」がある。こちらも観光施設として検討することはできないか。 | 基本目標2 基本的方向1 | 綾瀬川大曾根ビオトープは、貴重な生態系や湿地帯の保全を図ることを目的とした施設であることから、総合戦略の観光施策において位置づけすることは難しいと考えております。 |
| 20 | 幼児に対しては、子育てサロンがあるが、小・中・高・大学生の居場所が八潮市にはほとんどない。「わんぱる」があるが、遠い子に行くことができない。八潮市には児童館がないために、離れて行ってしまふ人は多い。既存の施設でもなんでもよいので、子どもたちが集える場をつくってほしい。 | 基本目標2 基本的方向2 具体的な施策① | 小・中・高・大学生に限らず、すべての市民がいつでも気軽に交流できるような場を確保することが市民の暮らしやすさにつながると考えております。総合戦略においては、サロンスペースとして利用できる場の確保に取り組むこととしています。 |
| 21 | 青少年の居場所づくりについては、学校など空いているハードはあるので、金をかけるということではなく、ソフトでカバーすることは重要なことだと思う。 | | |
| 22 | 八潮市には、八潮市青少年健全育成審議会という組織がある。そこでは、様々な地方の施設なども視察に行っている。新しく施設をつくるということではなく、空いてしまった施設を使うなどの方法もある。八潮市青少年健全育成審議会等と連携して進めてほしい。 | 基本目標2 基本的方向2 具体的な施策① | 青少年育成に限らず、八潮市内の各種団体と情報共有を図りながら、それぞれの役割を果たしていくことで、効果的な取り組みを推進してまいりたいと考えています。 |
| 23 | まつりは、地元で地道に実施するのも大切なことであるが、もう少し外からも注目されるようなものも企画した方がよい。 | 基本目標2 基本的方向1 具体的な施策② | (No14, 15への回答と同様) |
| 24 | PR力の問題である。お祭りをやっているだけでは、他でも同じようなことを実施しているため、情報発信の工夫が必要だということである。 | | |
| | 基本目標3 | | |
| 25 | 人が転居する大きな要因は、「就職」・「結婚」・「子育て」の時期だろう。その中で、一番定着する機会となるのは、「子育て」時期だと思う。八潮市に住んで、嫌だと思った時点で出て行ってしまふ。現状では、20~40代という幅広い世代で転入傾向があるようだが、どの世代を対象に定住化に向けた政策を実施するかが重要だと思う。定住等に関するアンケート調査結果を見ると、35~40歳くらいまでに転入する方の割合が東京特別区に比べて、八潮市は少ないように感じた。そうすると、子育てに重点を置いて進めていくことが、定住という意味では効果的ではないかと感じた。 | 基本目標3 基本的方向1 | ご指摘のとおり、将来にわたって本市の活力を維持していくためには、生産年齢人口、年少人口の増加を図る必要があると考えています。そのため、子育て世帯の転入の増加を目指し、子育て広場の整備や保護者の相談に応じる子育てコーディネーターの設置、小規模保育施設の整備など、子育ての負担の軽減や待機児童の解消に向けた取り組みを行うこととしました。 |

第1回会議でのご意見について

| 審議会でのご意見 | | 総合戦略における対応 | |
|----------|--|----------------------------|---|
| No. | ご意見・ご質問 | 記載箇所 | 内容 |
| 26 | 子どもがいなければ、人口は増えていかない。現状の八潮市で、子育てをするときには、施設が足りない。病院も、産科がないために出産できない。そういったものを増やさない限りは、子どもは増えない。そういった八潮市の現状に気づいた人が転出しているのだろうと思う。 | 基本目標3 基本的方向1 | 産科につきましては、市民要望が高い重要な課題として、これまで様々な誘致活動を行ってきました。今後におきましても、本市の総合計画に位置付け、引き続き誘致に向けた取組みを進めていきたいと考えております。 今回の総合戦略案におきましては、若い世代の定着を促すため、子育て支援策の充実に重点を置き、子育て支援コーディネーターの設置や、小規模保育施設の整備などに取り組むこととしました。 |
| 27 | とにかく産院がなければ、子どもは産めない。 | 基本目標3 基本的方向1 | (No26への回答と同様) |
| 28 | 中央病院ができるが、産院はできないのだろうか。 | | |
| 29 | 待機児童がいまだにいる。育児休暇が終わるとどこかに子どもを預けなければならない。また、生まれた月によっては、受け入れ期間が半端であり、どこかに預けなければならない。そういった面をフォローしなければならないのではないか。 | 基本目標3 基本的方向1 具体的な施策② | ご指摘のとおり、市民の出産・子育ての希望をかなえるためには、保育環境の充実が非常に重要だと考えております。そのため、待機児童数ゼロを目標として、事業所内保育事業、小規模保育事業を推進することとしています。 |
| 30 | 学校で勉強しなければならないということを、社会全体で子どもに教えていかなければならない。今の親は、子どもをほったらかして、親同士で遊び歩いている。「親が子どもをきちんと勉強させて基礎的な学力をつけさせる」という認識を親自身が持たなければならない。そうした親の割合を増やしていくことが必要であり、それが地域の教育である。そういう環境をどのようにしてつくるかが大切である。 | 基本目標3 基本的方向2 | 児童生徒の学力の向上については、基本目標3、基本的方向2で取り組むこととしています。また、学習意欲の向上や学びの場づくりにつきましても、取り組むこととしています。 |

第1回会議でのご意見について

| 審議会でのご意見 | | 総合戦略における対応 | |
|----------|--|------------------------------|---|
| No. | ご意見・ご質問 | 記載箇所 | 内容 |
| | 基本目標4 | | |
| 31 | アンケート結果などを見ると「防犯」が課題となっている。八潮市でも、町会などの従来の地縁型の社会に、新住民が入ってきており、双方をどう結び付けていくかということは、大きな課題になると思う。それらは「治安」には不可欠な要素である。 | | |
| 32 | 八潮市では、子ども会がとても発達していたのに、今では消滅していった状態である。子どもたちと地域の人たちとのつながりは減っていったのではないかと思う。 | | |
| 33 | 保護者の考え方が変わってきているところもあるのだろう。子ども会を運営する保護者の人数が少ない地域は、町会の人々が協力して組織を運営するなどしなければならない状況である。 | | |
| 34 | 子ども会については、時代が変わり、親がほとんど働いているので難しいと思う。地域コミュニティができたと思う。地域の活動については、市全体から広めようとしても難しい。各地区の町会が主体になって、地域の人々が親しみやすいリーダーの人材育成をすることが重要である。子育てについても、子育てというと幼少時しか浮かばない人も多いが、その後も続くものであり、子どもが成長したときに、非行等に走らないような教育、きちんと就職できるための教育などが必要であり、教育が基本だと思う。どの分野においても、引っ張っていくリーダーを育てることが重要ではないか。また、今、学校は自由に使えないが、遊べる場所が少ないので、広い敷地を持つ学校が自由に使えないのはもったいない。 | 基本目標4 基本的方向2 具体的な施策①・② | ご指摘のとおり、人々のつながりの強いコミュニティを形成することは、まちの防犯性等の向上に寄与するものと考えます。総合戦略においても、市民のつながりを促進するため、交流の場の確保や、地域コミュニティの活性化に向けたリーダー養成に取り組むこととしています。 |
| 35 | 八潮市は、殺人事件なども多い。そういったものをなくさなければ、新聞などで報道されて、物騒だと思われるだろう。警察に頼んだり、市役所で監視カメラをたくさん設置するなど、防犯体制を強化してもらいたい。 | 基本目標4 基本的方向1 具体的な施策② | 第5次八潮市総合計画においては、「犯罪のない安全で安心なまちづくり」として、防犯力の強化や防犯施設の整備、警察署・交番の誘致等に取り組むとしており、本市では、引き続き誘致活動を行ってまいります。「治安」は、市民や市外居住者の多くが居住地に求める条件として重視しているものであり、定住を促進するための重要な要素と考えるため、総合戦略においても、防犯カメラの設置や地域の防犯パトロールの支援に取り組んでまいります。 |
| 36 | 変質者も多い。パトロールなども実施しているが、もっと力を入れるべきではないか。 | | |

第1回会議でのご意見について

| 審議会でのご意見 | | 総合戦略における対応 | |
|----------|---|------------------------------|--|
| No. | ご意見・ご質問 | 記載箇所 | 内容 |
| 37 | まつりの開催場所に偏りがあり、住む地域（北側など）によっては、まつりに出て行かないという人が多いところも見られる。市民みんなに待ち望まれるようなまつりを実施してもらいたい。 | 基本目標 4 基本的方向 2 具体的な施策② | 地域のまつりは、地域の人々のつながりを強めるきっかけとして、非常に重要な役割を担っていると考えられます。総合戦略においては、地域のコミュニティを活性化し、より地域の活動を活発化することができるよう、地域連携に向けた取り組みをコーディネートする地域リーダーの養成に取り組んでまいります。 |
| 38 | まつりの開催場所は、バランスが取れてきている。 | | |
| 39 | まつりにあまり出て行かないという印象の地域もある。サンバのときには、みんなハッスルしていた。少しお金をかけてでもあのくらいのを派手に実施した方がよいのかもしれない。 | | |
| 40 | 大きい小さいはあるが、まつりは人と人をつなぐ交流の機会となるため、絶対に実施した方がよい。参加するかしないかは自由であり、自分が関心をもっていかに参加するかが重要である。まつり自体を否定してほしくない。交流のきっかけがない中で、まつりがそのきっかけをつくる。 | | |
| 41 | 地域でみんなに集まってもらえるような形になればよい。 | | |
| 42 | 地域の人に参加してもらえるような形をつくっているが、地域性など、いろいろな問題があるのは確かである。 | | |